



ジュニア司書養成講座報告

図書館では児童生徒が司書として知識や技術を学び、図書館業務を経験することを通して、読書活動推進の担い手を育成し、読書の普及と図書館及び移動図書館の利用促進を図りたいとの思いからジュニア司書養成講座を開講しました。この夏、ジュニア司書をめざす10名の受講生の様子をご報告します。

◎第4回 8/7(金)

専門研修2～お気に入りの本を作ろう～

■専門研修2回目は製本講座を行いました。講師の柴垣先生の指導により、和綴じ本の技法で『うちどくノート』（読書ノート）を作成しました。受講生全員、和綴じ本初挑戦という事もあり、緊張した面持ちで講師の説明を聞いていました。表紙と綴りひもの配色などセンスもよく、手先が器用な受講生が多いので完成が楽しみです。

※『うちどくノート』とは…学校で行われている『あさどく』（朝の10分間読書）を家族で実践するために作られた読書ノートのことです。



■和綴じ本制作の第一歩は、用紙をキチンと正確に折ることからはじまります。



■毎回苦勞する用紙の穴あけ。講師の柴垣先生にもお手伝いいただいて、何とか開きました。



■最後は針と糸で用紙を綴じます。順番を間違えないように真剣に！！



■みんなそれぞれ読書ノートが完成しました。受講生のキャラクターが反映された世界に一冊しかない本の完成です。これをきっかけに和綴じ本の制作や読書ノートの活用が進む事を期待しています。



■当日受講できなかった受講生も補講を行い、『うちどくノート』を完成させました。